令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	73

担当課	経営デザイン課	担当課長	中原　三千代
事業担当者	山崎　千晴	一次評価者	藤野　孝一
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	行政事務事業評価		
予算科目	2　款　1　項　10　目		
予算事業名	企画費		
総合計画での位置づけ（施策名）	社会動向・町民ニーズに対応できる組織体制・人材育成		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	久山町事務事業評価実施要綱		
事業の対象	令和2年度中に行った事業		
事業の目的	町が実施する事務事業に対して、効率性、有効性、妥当性、公平性等を評価し、次年度以降の改善につなげて行く。また、外部評価委員会を行い、学識者や町民等の視点から意見をいただくことで透明性のある健全な行政運営を行うことを目的とする。		
実施期間 開始年度	平成　21　年度から		
実施期間 終了年度	令和　年度まで		
事業の内容	・制度構築のための検討 ・外部評価委員会の開催		

目的達成の指標（成果指標）

改善を行った事業/改善が必要と評価された事業

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	%	100	100	100	100
実績	%	100	100		

指標設定の考え方	評価によって事業の問題点、改善点に気づき、実際改善案を策定した事業の割合で達成度を計る。
計画時の懸案事項	評価シートの中身について、目標達成の指標の設定に課題が残っている。引き続き、職員の資質、説明能力の向上、事業の振り返りと改善の予算反映に向けて、評価を実施していく必要がある。
計画時の懸案事項への対応	内部評価から外部評価、経営者会議、改善案の作成までの一連の作業をを予算要求前に完了することで、過年度評価についても予算反映につなげる。次年度実施する令和3年実施事業の評価に向けて、事業の振り返りやその結果を予算へ反映しやすくなるよう、評価シートの内容について、見直しを図る。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　305 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.51	0.27	0.27	0.27
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	3,902	1,938	2,132	2,132
事業費	直接事業費	880	880	880	880
	人件費	3,902	1,938	2,132	2,132
	合計	4,782	2,818	3,012	3,012
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,782	2,818	3,012	3,012
	合計	4,782	2,818	3,012	3,012

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	880	880	880	880	880
実績	880	880			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
事務事業評価数	件	82	79	100	100
		82	79		
予算要求前に内部評価を実施した件数	件	82	79	100	100
		82	79		
外部評価実施件数	件	6	6	6	6
		6	6		
予算要求前に外部評価を実施した件数	件	6	6	6	6
		6	6		
事務事業評価シートHP公開件数	件	82	79	100	100
		82	79		
広報紙掲載回数	件	4	3	3	3
		6	2		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　300 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.51	0.27	0.27	0.27
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	3,902	1,938	1,895	2,132
事業費	直接事業費	880	880	880	880
	人件費	3,902	1,938	1,895	2,132
	合計	4,782	2,818	2,775	3,012
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,782	2,818	2,775	3,012
	合計	4,782	2,818	2,775	3,012

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	山崎　千晴

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 ※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	B
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

必要性としては久山町総合計画基本計画に基づく事務事業を効率的、計画的に進めていくための手段として、また、外部評価という町民の意見を取り入れる機会を設ける事業であるので必要性の高い事業といえる。
また、有効性・効率性という点では、外部評価対象事業の評価及びその評価内容についての経営者会議の意見を次年度予算編成時に反映していることからも非常に高いと考える。 公平性・透明性という観点では、広報紙やホームページ上で評価の結果を公表し、外部評価委員会も一般公開していることも踏まえれば、評価は高くなる。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

今年度は、過年度評価を予算反映につなげ、業務改善をはかることを目標のひとつとしており、経営者会議の結果を受けた各課の改善案は、予算要求前に作成され、、事業改善が予算に反映された。
また、町民の皆さまへの説明責任を果たし、事業改善へつなげるため、広報紙による周知回数を前年度より増やした。
来年度は、第4次総合計画スタートの年であり、再来年度からは、第4次総合計画をもとにした評価を実施する必要があるため、その準備を進める必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	藤野　孝一

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

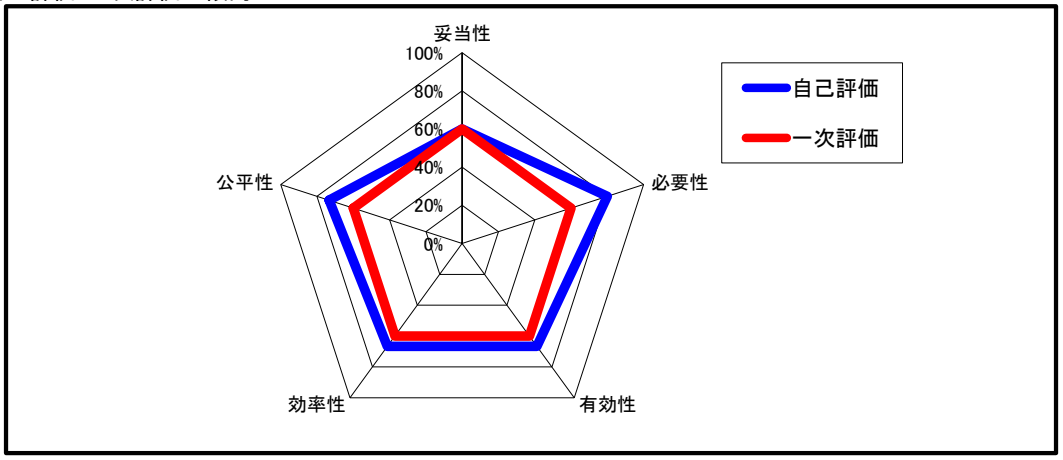
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

行政が実施した事業について外部の方に評価していただくことは、公平性を担保するうえでも大切なことであると考えます。第4次久山町総合計画がスタートする令和4年度事業評価に向けてより住民の皆さまへの説明責任が果たせるものになるよう評価シートの再構築も進めてほしいと思います。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	中原　三千代

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

事業評価が総合計画の評価と連動できるよう、評価シートの再構築を行っていく。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）